

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年4月15日

事業所名 リハこどもデイフクシア

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	パーティションを利用し、訓練と遊びがしやすい環境をつくっている	利用定員増加により密度が高くなってくることが予想されるため屋外活動など工夫が必要
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	複数事業所を展開しているため定期的な配置換えをしている	人員基準を順守し、適材適所に人員を配置していく
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	訓練室は広く、柱があるため死角ができる	活動場所や環境をわかりやすくシンプルに構成する工夫(環境の調整)を行う
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	勉強会などの開催	PDCAサイクルを実施している。職員全員が参加できるように改善していく
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	評価表に記載されているご意見を参考に業務改善を実施する	貴重なご意見を頂いた際には、早急に改善に努めたい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	HPやSNSを利用して、公開している	最低でも月1回以上更新するように努めます
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	外部評価は受けていません	今後は第三者評価を検討していきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	勉強会や研修への参加	研修の機会を増やしていきたい
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	利用児や保護者のニーズ把握や課題分析を専門的に行っている	多職種連携によりより高い水準での支援を目指していきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	セラピストによるアセスメントを実施	保育士や介護福祉士等もアセスメントをしっかり取るようにしていきたい
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	概ね3か月ごとにカンファレンスを実施	カンファレンスや症例検討などの機会を増やしていく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	季節ごとに行事を取り入れている	個々の能力にあったプログラムの見直しを行う。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	平日と休日に分けてプログラムを設定している	長期休みには屋外行事や訓練を多く設定して平日には時間的にできない体験を積ませてあげられるよう工夫している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	概ね出来ている	利用児が増えてくると場所や時間の有効活用を考える必要がある。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎日の朝礼時に確認をしている	パターン化しないように業務を日ごとに分担している
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終業後に1日の振り返りをして次につなげている。	情報共有の方法の点で、環境整備をすすめていきたい
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	ダブルチェックしている	個人カルテや日誌、申し送り表等の記録をもとに、さらに利用児に関する療育などにうまくつながるように改善していく
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	概ね出来ている	定期的にモニタリングを行い発達、成長に合わせた見直しを行っている
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	概ね出来ている	パターン化しないように個々の能力に応じて内容を設定している。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	できる限り参加している	オンライン会議など感染状況に応じて柔軟な対応が必要となっている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	随時、実施できている	学校ごとに行事予定や下校時刻予定を受け取り、ダブルチェックで確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%	実績なし	連携医療機関と協議して、体制を整えていきたい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	特に新1年生の場合は保護者同意のもと情報をいただくようにしている。	連携が取れる関係機関と取りにくい関係機関があるため、相互理解を深めて連携しやすい関係を構築するように努力します。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	保護者同意のもと会議への出席や書面での報告を行っている	今後も連携を継続できるよう努めていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	定期的に連携が取れている。	合同勉強会や症例検討など専門的な研鑽が積めるよう協力体制を整えていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%	実績なし	連携できるよう働きかけていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	機会があれば参加する	コロナの影響で、ほとんどの会合が中止となる。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	主に送迎時に伝えている。	毎日の送迎や連絡帳を通じて報告しているが、さらにコミュニケーションの機会を増やしていきたい
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%	実績なし	今後はペアレント・トレーニング支援を検討していきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明している	契約時に説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	随時、対応している	いつでも連絡がとれるよう体制を整えている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	コロナ禍により未実施	父母会等に対応する支援や保護者同士の連携を支援できる体制を整えていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	随時、対応している	いつでも連絡がとれるよう体制を整えている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	連絡帳や書面で発信している	会報等は実施できていないが行事ごとに案内文を作成してお知らせしています。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	概ね出来ている	個人が特定されないようにSNSやHPでの画像にはモザイク処理を施しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	評価をしっかりと行い対応する	個々に合わせた意思疎通、情報の伝達ができるように心がけていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	こども食堂を実施している	食中毒やコロナ感染症などの対策を講じて実施している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	概ね6か月ごとに現状に合った内容を見直している	概ね6か月ごとにマニュアルの見直しを行っているが保護者への説明は不十分だと思いますので改善していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	DVD教材を使用して災害時教育を行っています。	訓練回数が少ないので火災、地震など災害ごとに分けて実施するよう検討する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	勉強会や研修への参加	研修の機会を増やしていきたい
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0%	100%	実績なし	主治医と相談のうえ対応、対策を講じていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	医師からの指示書や保護者からの連絡で把握している	事前面談時に家族にアレルギー等の確認している。それをスタッフ全員で把握するようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	全体会議で共有している	毎月、リスクマネ会議を開催し、集計、分析、改善を行っている。